

# 世界中で水素医学は着実に研究が進んでいます!!

水素は一過性のブームではなく、科学的な根拠がしっかりしています。

## トピックス

①

### 高濃度水素水は、日常生活疲労に対する抗酸化効果あり!

8月23・24日、第8回「日本分子状水素医学生物学会」が開催され、小生(獣医師)も参加いたしました。その中で、理化学研究所渡辺恭良先生は、臨床実験により、「高濃度水素水は日常生活における睡眠、抑うつ症状、自律神経異常と認知亭作業時の意欲の改善をもたらし、日常生活疲労に対する抗疲労効果を有する」ことを発表しました。(この研究については、前回の研究室便りでもふれましたね)

また基調講演では、太田成男日本医科大学名誉教授は、世界中で水素医学の研究が注目され、特に認知症改善、予防する効果の研究報告がおおいに期待されている。また、ノーベル賞受賞研究者も「水素」というこの小さな物質が、いわゆる「文明病」といわれる疾病の予防治療効果が著しいことに驚き、「水素医学」そのものが注目されていることを発表しました。



## トピックス

②

### 水素ガス治療で脳梗塞の縮小が確認されました!～ヒト臨床実験の段階へ

8月30日、テレビ朝日の羽鳥慎一モーニングショーの「そもそも総研」で、「ヒト臨床水素研究」が報道されました。取材の中で、慶応義塾大学医学部水素ガス治療開発センターの佐野センター長は「世界各国で行なわれている動物実験では、すでに『炎症の抑制』や『血行動態の安定化』などが認められているという水素療法の中で、高い効果が認められたのが『脳梗塞の縮小』だった」といいます。大量発生すると重症の臓器障害を引き起こすという「活性酸素」の増加を水素が抑えることで、最終的には梗塞部分が半分以下まで縮小したというのです。「ヒトの脳機能や心機能、生命予後の改善効果が期待でき、患者さんにこれまで以上の恩恵をもたらせるかもしれない。」として、慶応医大をはじめ、全国の20の医療機関で行われており、現在症例を集めているとのこと。「私たちは今それを検証する臨床実験を行っています。」と述べられました。これにより、水素医学が基礎研究を終え、ヒト臨床実験にまで進んでいることが明らかになりました。